

vegeta 新聞

次回 vegeta 新聞)は
8/1 (月) 頃

春作キャベツは好成績！

キャベツの収穫は菅田、郷の三次地区が終わり、門田や川北町などの庄原川北地区へと移動しました。下の図は2023年の春作(5/1~6/30)の間の収穫量を表したものです。

御領駅は昨年を引き続き、収穫量も好調。10aあたりの収穫量もとても多く、昨年と同じ栽培面積でしたが、さらに鉄コン約2基の **740kg 収量 UP**。門田は少し栽培面積が増え、まだ収穫中にも関わらず昨年の収穫量を大きく上回り、**10aあたりの収穫量に換算すると約1.4倍**です。

春作全体を通して比較しても、2023年は栽培地区と面積を絞りましたが、その分それぞれの **圃場の管理にしっかり取り組めたため、圃場ごとの収穫量は増える**という結果になりました。

しかし、下山手は管理が行き届かなかった部分もあり、未収穫となっています。

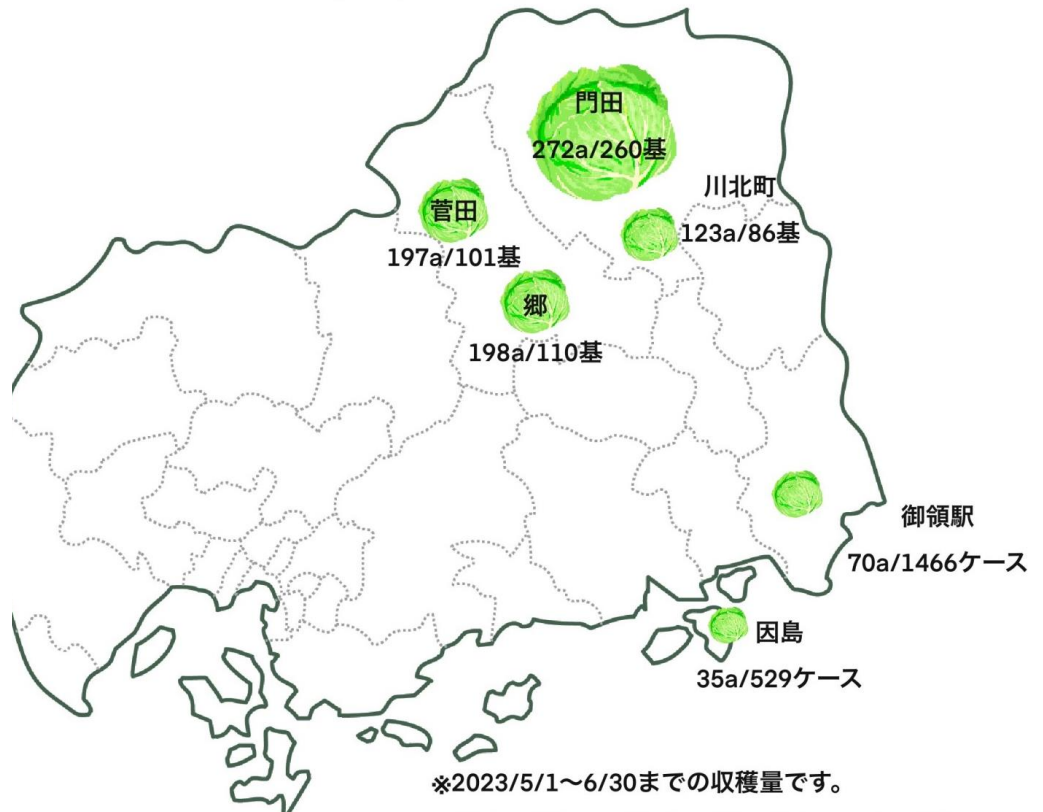
収穫量は春作全体で234トン。鉄コンテナ約671基分です。門田は未収穫圃場があと少し、川北町もあと半分ほどあります。その後、久井田、伊勢に収穫に入ったら、夏作キャベツの高暮の収穫へと移っていきます。

【川北町；定植面積275aのうち123aは一度収穫済み】

【久井田200a、伊勢43aはこれからの予定】

2023年 春作収穫

1089a / 234t



※2023/5/1~6/30までの収穫量です。

※門田、川北町、菅田は収穫の済んでいる面積を、その他の地域は定植した面積を記入しています。



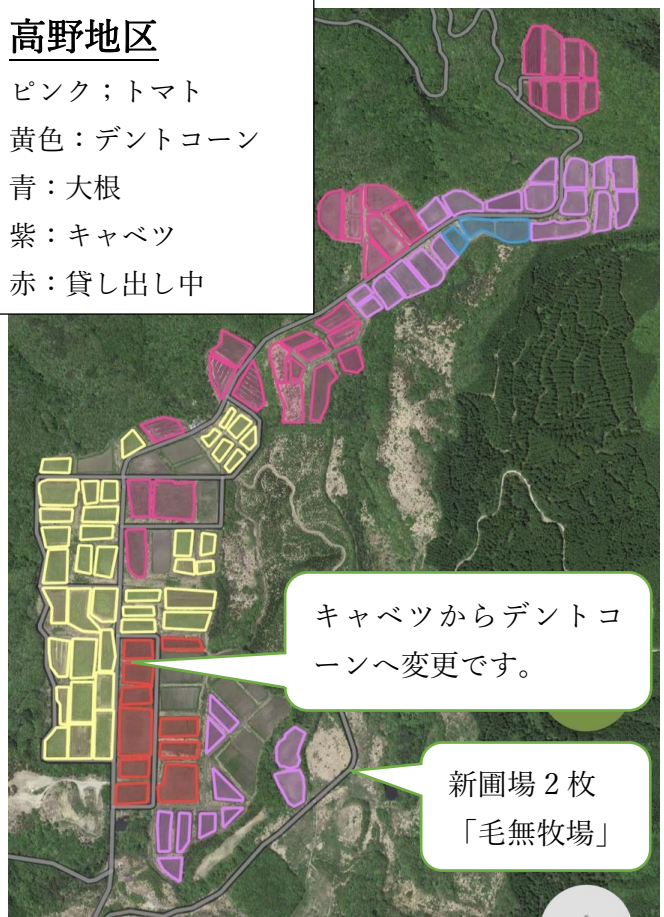
(門田栽培中の様子)

通年キャベツを出荷するには、冬越し作（2～4月収穫）と春作（5月～収穫）の切り替えが重要となります。今年は、一部地域の冬越し作のキャベツがとう立してしまい、収穫量が大幅に減ってしまいました。今年はこのようなことがないように、冬越し作は定植時期やその後の管理を徹底していきたいと思えます。春作については、収穫開始時期を右の表に2年分載せています。

春作キャベツ収穫開始日

2022年		2023年	
圃場グループ	収穫開始	圃場グループ	収穫開始
御領駅	5/11	因島 5, 6	5/8
甲田	5/18	御領駅	5/8
三良坂	5/23	郷	5/22
郷	5/24	菅田 1 工区	5/30
川土手	5/26	菅田 2 工区	5/30
門田	5/31	菅田 3 工区	6/1
富田上中下	5/31	門田	6/9
帝釈(宇山中)	6/17	川北町	6/17
久井田	6/24		
川北町	6/24		

高野地区
 ピンク；トマト
 黄色；デントコーン
 青；大根
 紫；キャベツ
 赤；貸し出し中



キャベツの定植作業では高暮地区の作業が終わり、高野・毛無中電工道上・道下などの作業に入っています。高野 58～69 のまとまった区画（地図では左下区画）ですが、年初めにお配りした栽培予定計画ではキャベツの予定でしたが、夏キャベツの栽培面積を調整し、デントコーンへ変更です。口和も 3 ha ほど定植予定ですが時期など確定しておらず(整備中圃場のため)すべてがデントコーンに変更ではなく、一部キャベツの定植も行います。高野地区の品目については決定次第、随時報告します。

↑ ↓ ↑ はすべての定植が終わり、初めに定植した因島では花が咲き、実が付き始めています。収穫は因島が 7/10 ごろ、高宮が 7/25 ごろからの予定です。



サツマイモも 6 月いっぱい定植が完了しました。早速、イノシシに見つかってしまい、一部被害出ましたが、電気柵を補強したことで落ち着きました。トマトとサツマイモは 6～7 月に雨が多かった影響で、本来は機械による定植のところを圃場に機械が入れず、ほとんどが手での定植となりました。本当にお疲れ様でした。



写真は左から（トマト着実） （サツマイモ被害発生） （川土手のデントコーン） （高野のキャベツ定植）

デントコーンも三次の川土手では穂が出ており、順調に生育中です。こちらにもイノシシに見つかり食べられてしまうため、既に電気柵を設置。森川さんによるとイノシシの足跡は発見されており、特に注意が必要とのこと。収穫は8月に入ってからになりますので、7月いっぱい、そして収穫までの間は雑草の処理と電気柵が漏電していないかの見回りをよろしくお願いします。高野・持丸の高標高地区へも播種が始まります。雨の前後は発芽率が落ちるため、お天気次第ですが、なるべく晴れの時に蒔きたいです。



無事に帰るのが一番！

夏は忙しさと暑さから農作業事故の発生率が上がります。7月、8月は特にトラクターと運搬車の事故が多いです。圃場内で足元が悪いとき、畔や狭い道など、よく確認しながら危険な時はゆっくりで良いので事故の無い機械の利用をお願いします。暑い日の作業はつい一瞬ぼーっとしてしまい、重大な事故につながるということがあります。vegeta は高馬力の大型機械も多いため、特にご注意ください。

農作業中に多い事故ランキング

(令和3年 農林水産省まとめより)



1位、乗用トラクターの
挟まれ、転倒事故



2位、運搬車への巻き込ま
れ、ひかれ事故



3位、動力噴霧器、
刈り払い機での転倒事故

朝の味噌汁で熱中症予防！

熱中症の原因は、「高温の環境下で、体温の調節機能や体の電解質のバランスが崩れること」です。朝ごはんに味噌汁を飲むと熱中症になる確率が下がります。これは汗として流れ出る水分、そしてナトリウム（塩分）やカリウム、マグネシウムなどのミネラルが1日の作業前に十分チャージされるためです。具材によってはビタミンやタンパク質も摂取出来ます。インスタントでかまわないので味噌汁を飲まれることをおすすめします。また、空調機付き作業服は会社から貸し出しをしておりますので、不具合があれば上司に報告をお願いします。



私たちは何人分の食料を作っている？

原ちゃん小話

2021年7月の時点で、世界の農地面積は約5億3,000万ヘクタールと推定されています。一方、世界人口は約78億人です。世界中の人で平等に農地を分けると、面積÷人口で1人当たりの農地面積はおおよそ0.067ヘクタール（6.7アール）となります。vegetaが管理している農地は120ヘクタールのため、世界基準では私たちは約1791人分の農地をその人たちに代わり、耕し、農作物を育てている計算になります。毎日大変な作業ですが、育った農作物は多くの人々の元へ届けられています。※計算上の農地にはお茶やコーヒー、牧草地も含まれます。

今月の隙間タスクは 電気柵見回り。

サツマイモとデントコーンの見回りが大変です。各地区担当の方で、誰がいつ、どこを見るか相談して見回りを行ってください。

三次担当：工,森川,西村,東,倉石
川北担当：重森,山内,長妻,山岡